

安全報告書 2021

2020年4月1日～2021年3月31日

複式単線自動循環式普通索道

早雲山線（早雲山駅～大涌谷駅間）

桃源台線（大涌谷駅～桃源台駅間）

箱根ロープウェイ株式会社

ごあいさつ

平素より箱根ロープウェイをご利用いただき、誠にありがとうございます。

2020年度は、当社は1960年に全線（早雲山駅～大涌谷駅～姥子駅～桃源台駅間）が開業してから60周年を迎える節目の年となりました。これも、日ごろ当社をご利用下さいますお客さまのおかげであり深く感謝を申し上げます。

さて2020年度は新型コロナウイルス感染症が世界的に感染拡大し2度の緊急事態宣言が発令されるなど、大きな影響を受ける1年となりました。4月7日に東京都神奈川県を含む7都府県に緊急事態宣言が発令され、神奈川県知事からの外出自粛要請を受け、4月10日より全線の営業運転を休止することにいたしました。その後、5月25日に緊急事態宣言が解除され、5月30日より感染拡大防止対策を強化し営業運転を再開いたしました。2021年1月には、2度目の緊急事態宣言が発令されましたが、「チケットカウンターのビニールカーテンの設置」「営業時間の短縮」「搬器内手摺りなどを含む各所の消毒」「搬器内の換気」「密」を避けるための搬器乗車人数の制限」「ゴンドラ乗車時にソーシャルディスタンス保てるように、車内に4区分化シールの貼付け」など可能な限りの感染拡大防止対策を継続して行なう等、各種感染拡大防止対策を継続し安全運行に努めました。

このような状況下ではありますが、予てより箱根登山ケーブルカーとの乗換駅である早雲山駅舎の整備工事を進めてまいりましたが、7月より新駅舎の供用が開始されバリアフリーなどターミナル機能が強化されました。また、輸送の安全確保のため、第Ⅰ期線（早雲山駅～大涌谷駅間）および第Ⅱ期線（大涌谷駅～桃源台駅間）の索道設備の機能維持を目的とし、両区間の定期メンテナンスを行い、本年度は支柱受索装置の整備を実施しました。

引き続き索道設備保守と人材育成に努め安全輸送態勢を維持し、「輸送の安全確保」を全社員共通の使命として常に責任ある行動をとり、お客さまに安全で快適なご旅行を提供できるよう、万全を期してまいります。

なお、この安全報告書は当社における輸送の安全への取り組みや実績をまとめたものです。本報告書の当社の取り組みについて広くお客さまへお知らせするとともにご理解をいただければと存じます。なお、本報告書はホームページにおいても公表しております。

2021年6月

箱根ロープウェイ株式会社

代表取締役 飯田 直保志

目 次

- 1 安全に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 安全目標と安全重点施策の取り組み・・1～2
- 3 事故等の発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 4 事故の未然防止対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～6
- 5 輸送の安全確保のための取り組み状況・・・・・・・・7～9
- 6 環境推進活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 7 当社安全管理体制(組織図)・・・・・・・・・・・・・・・・9～10

1 安全に関する基本方針

社長、役員および従業員（以下「従業員等」という）の安全に係わる行動規範(安全基本理念、安全方針)は、次のとおりとしています。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程(本規程を含む。以下法令等)というをよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときには、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は、漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

2 安全目標と安全重点施策の取り組み

2020年度の安全目標については「安全最優先の判断と行動で、安全・安定輸送を確保する」と定め、安全重点施策については以下の3点といたしました。

- (1) 作業基準を遵守し、安全確実な作業を実施することで、運転停止を減少させる。
(2019年度 発生件数2件)
- (2) 旅客と従業員の安全を第一に、注意喚起の徹底により火山ガスによる体調不良者ゼロを継続する。
(2019年度 火山ガスによる体調不良者発生件数0件)
- (3) コミュニケーションを活発化させ、団結した行動力を発揮する。

以上の目標を達成するため各部署では、行動計画を定め目標に向って全社員一丸となり取り組みました。その結果として、運転停止件数1件（対前年△1件）、火山ガスによる体調不良者の発生件数0件と目標を達成することができた一方で、「コミュニケーションを活発化させ団結した行動力を発揮する」については、次年度で改善に向けて取り組むことにいたしました。

①運転停止に至った事象

- 内 容 閉扉の際にお客さまの靴が挟まった（2020年7月31日発生）
原 因 指差呼称の不完全と注意喚起の不徹底
対 策 ア 従業員の再教育の実施
イ チェック表による作業基準遵守状況を上司が定期的に確認し、本人への指導とフィードバックを実施する。

3 事故等の発生状況

- (1) 索道運転事故(索道人身障害事故) 0件
(2) 国土交通省へのインシデント(事故の兆候) 0件

(3) 運行障害の発生状況

①自然災害（強風による運休25日・大雪による運休0日・雷による運休5日）

②機械故障（第Ⅰ期線：早雲山駅～大涌谷駅間2日）
（第Ⅱ期線：大涌谷駅～桃源台駅間1日）

- ア 運転準備不具合による運休（第Ⅰ期線 2020年7月23日発生）
原因：プログラム上の搬器台数の誤認識
対策：プログラム上の搬器台数を変更した場合は、必ずリセット操作を行う。台数表示プログラムの変更を実施した。
- イ 場内押送速度低下による運休（第Ⅰ期線 2020年7月26日発生）
原因：制御部品の故障（パワーサプライ）
対策：当該部品の交換、交換周期の見直し
- ウ 押送装置インバータ不具合による運休
（第Ⅱ期線 2020年8月16日発生）
原因：インバータの不具合
対策：インバータの該当部品の交換、交換周期の見直し
- エ 押送装置インバータ不具合による運休
（第Ⅱ期線 2021年1月12日発生）
原因：インバータの不具合
対策：インバータの該当部品の交換、交換周期の見直し
ご利用予定のお客さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。バスによる振替輸送とさせていただきます。

4 事故の未然防止対策

(1) 経営トップによる現業職場巡視

経営トップである社長及び安全統括管理者により夏季、年末年始といった繁忙期に各現業職場の巡視を行い、現業長および係員との意見交換や安全への取り組み状況を確認するとともに情報の共有化を図りました。

(2) 社長及び安全統括管理者による輸送の安全総点検の実施

年末年始の輸送の安全総点検期間中には、社長及び安全統括管理者等が現業の巡視を行い、総点検の進捗状況の確認を行いました。

【安全総点検現業巡視 安全統括管理者及び社長による訓示】



(3) 定期点検整備および安全対策

①早雲山線 2021年1月14日～1月28日まで（15日間）

②桃源台線 2021年2月1日～2月26日まで（26日間）

上記期間において営業運転を休止し、索道設備の整備を行いました。

両区間とも主に支柱の受索装置の整備を実施いたしました。

早雲山線 【支柱受索装置整備ほか】



支柱受索装置



押送モーター交換

桃源台線 【支柱受索装置整備ほか】



支柱受索装置整備



原動ユニバーサルジョイント交換

(4) 最大荷重試験

2020年5月18日 早雲山線（早雲山駅～大涌谷駅間）

2020年5月20日 桃源台線（大涌谷駅～姥子駅間）

桃源台線（姥子駅～桃源台駅間）

以上の3区間において最大荷重試験を行いました。

ゴンドラに荷重を搭載し、主原動機（モーター）および予備原動装置の起動、運転状態を確認するとともに制動装置（ブレーキ）の動作状況の確認、制動距離の測定などを実施しました。その結果、異状が無いことを確認いたしました。

【最大荷重試験の様子】



(5) 安全安定運行のための気象観測機器類

安全運行の確保のため、第Ⅰ期線（早雲山駅～大涌谷駅間）の運転司令所内に気象観測機器類を設置し気象現象・地震・雷雲等を常時監視しております。なお、気象観測システムについては第Ⅱ期線（大涌谷駅～姥子駅～桃源台駅間）の運転司令所にも設置しております。

【風向・風速計】



【気圧計】



【雨量計】



【気象監視システム】



【デジタル地震監視システム】



【IP電話】



(6) 火山防災対策

火山防災対策としては、引き続き火山ガス計測機器の設置（ゴンドラ内、大涌谷駅舎のりば）と大涌谷園地に火山監視員を配備するとともに行政等と合同で避難誘導訓練や図上訓練の実施、救護室の設置、全ゴンドラ内に救急箱を設置、注意喚起ポスターを多言語化するとともに、ピクトグラムで表示するほか、当社HPにおける火山ガスに対する注意喚起案内を実施しております。

また大涌谷のコンコースには防災用品棚にはヘルメットや非常用飲料水等を備え、防災備蓄品の充実を図っております。

引き続き火山ガスに対するお客さまへの注意喚起・ Gondラご乗車のお客さまへの安全対策の改善と強化を図ってまいります。

【大涌谷駅舎内ガス測定検出装置】



【監視モニター】



【Gondラ内酸素缶】



【大涌谷コンコース災害備蓄品】



【火山ガス注意喚起のピクトグラム】



5 輸送の安全確保のための取り組み状況

(1) 会議体

毎月 1 回安全マネジメント推進会議（下部組織：安全向上委員会）を開催し、発生した事象に対する原因分析・対策を立てるとともに、その結果を検証する等、P D C A のサイクルをまわして再発防止等に取り組んでおります。

(2) 教育・訓練

- ①営業運転時の停電・機械故障を想定し、連絡体制の確立ならびに予備運転装置によるゴンドラを各駅に収容する実践的な訓練を定期的に行いました。また、保安装置が動作した場合の運転再開を迅速に行うために、各種保安装置が動作したことを想定した応急復旧訓練を定期的に行いました。
- ②7月・8月には異常時総合訓練として、全ての動力が停止した場合に備えて、ゴンドラからの旅客救助訓練を実施いたしました。

【非常時に対応するための旅客救助訓練実施】

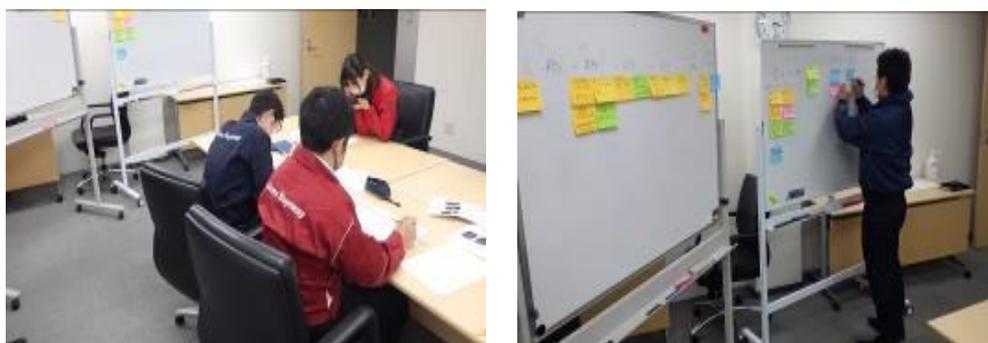


- ③新入社員の技術や知識向上を図るべく、工具の使用方法などの技能訓練や図解式のマニュアルを整備するなどきめ細かい指導を行いました。また、索道設備の仕組や構造についても経験が浅い若手社員にも理解

できるよう自前で工夫した教材を作製、活用して技術系担当者が教習を行っています。

- ④営業運転中に大規模地震が発生したことを想定した訓練を実施いたしました。これは小田急箱根グループ各社（9社）が合同で毎年実施している総合防災訓練で、I P無線を連絡手段として小田急箱根グループ総合本部と各社対策本部、現地対策本部の初動対応・情報伝達・情報整理の訓練を実施いたしました。

【総合防災訓練 情報伝達・初動対応訓練】



- ⑤10月には大涌谷園地で高濃度の火山ガスが発生したことを想定した訓練を実施し、行政、他の園地事業者とともに参加いたしました。

【大涌谷園地観光客の避難を想定した訓練】



(3) 社外教育研修

社外教育研修は、関東運輸局が主催する講習会や労務安全衛生協会主催の講習会を積極的に受講し、技能の向上と安全意識の高揚に努めました。

- ・国土交通省主催 運輸防災マネジメント指針説明会参加
- ・国土交通省主催 運輸事業の安全に関する
シンポジウム 2020
(オンライン参加)
- ・関東運輸局主催 索道技術管理者研修会参加
- ・労務安全衛生協会主催 フルハーネス型
墜落制止用器具特別教育参加

6 環境推進活動

12月には環境省箱根自然環境事務所と共同で地域公園内不法投棄パトロールを行い事業エリア周辺の県道沿いの清掃を行いました。

【不法投棄パトロール】

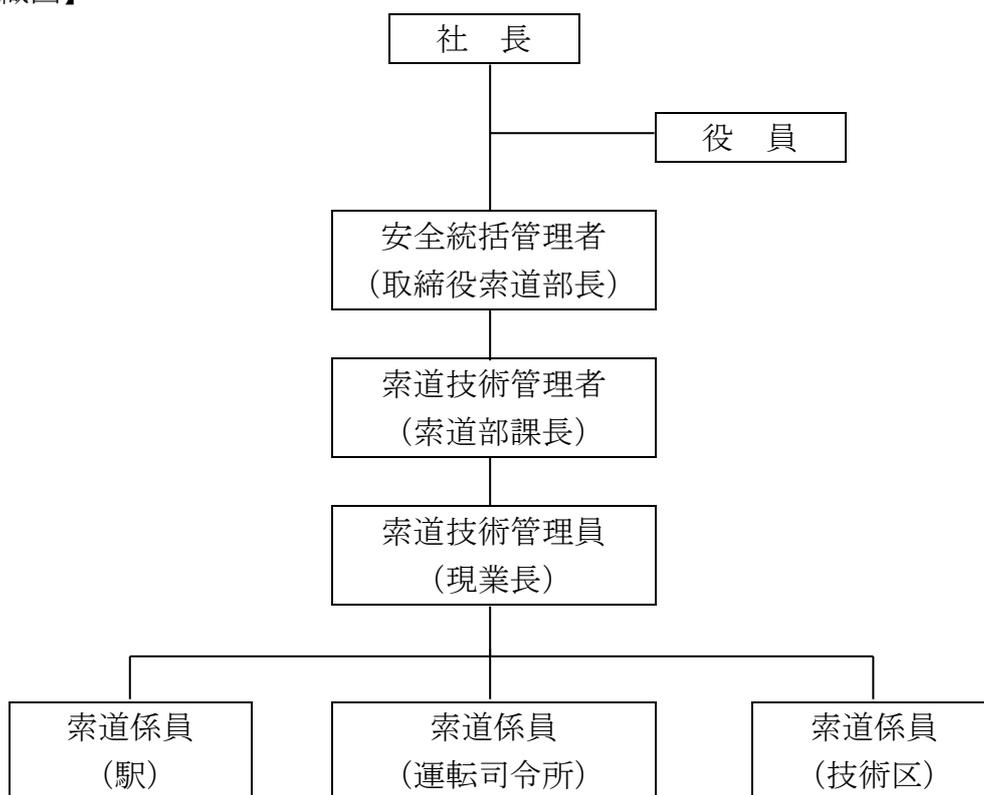


7 当社の安全管理体制（組織図）

当社の索道事業における安全管理体制は安全確保のため、社長を最高責任者とし安全統括管理者、索道技術管理者の有資格者を任命、配置しその役割と責任、権限を定めております。

当社の安全管理組織は以下のとおりです。

【組織図】



安全報告書へのご感想、当社の安全に対する取組み等のご意見、その他お気づきの点などございましたら下記へご連絡ください。

2021年6月30日

ご連絡先

郵便番号 250-0045

神奈川県小田原市城山1-15-1

箱根ロープウェイ株式会社 索道部

TEL 0465-32-2206

FAX 0465-32-2348

<https://www.hakoneropeway.co.jp>

以上